

## 茨城県南の暮らしをアップデート！ デジタル地域通貨の実証実験を実施します！ ～「とりでコイン」で茨城県南地域の地方創生・課題解決に向けて～

茨城県南発展協議会（以下、協議会・茨城県取手市・代表：飯島悠介）は、この度茨城県取手市内の飲食店・事業所と共に実施するデジタル地域通貨『とりでコイン』プロジェクトの実証実験を行います。

本実証実験はデジタル地域通貨システムを提供する3Dバーチャルコンテンツ株式会社（所在地：東京都台東区、代表取締役：井田真一、以下3DV）と、ブロックチェーン開発事業を手掛ける株式会社ナンバーワンソリューションズ（所在地：東京都目黒区、代表取締役：面来哲雄）の技術提供により、2023年11月6日より実施いたします。



### ■デジタル地域通貨で新たな地方創生モデルを目指します！

今回、デジタル地域通貨『とりでコイン』の実証実験は、取手市の商店街や飲食店・各種事業所で約6ヶ月の期間の間、実施いたします。本実証実験は、茨城県南発展協議会が実施主体となり、地域内の貨幣循環を活性化させ、地元産業の振興と地域内の交流を促進することを目標に実施いたします。

とりでコインは、生活に必要な商品・サービスの売買といった「通貨の役割」に加えて、普段の暮らしの中で必要な手が取り合える「助けあい」ができるコインです。とりでコインが地域を

活性化させる基盤となり、取手市での暮らしをより豊かなものにするきっかけになるよう本実証実験で検証します。

## ■取手市の実証実験の概要

本実証実験の期間は2023年11月6日(月)から開始して約6ヶ月間です。

とりでコインは決められた店舗でのみ使用することができます。期間中は、30店舗以上の加盟を目指しており、加盟店を随時募集していきます。

## ■地域の結びつきを強める目的で導入

とりでコインを導入する目的は次の4つです。

1. デジタル通貨を活用して店舗の売上向上
2. 地域の結びつきを強める（コインで助け合いを促す）
3. Web3を活用して地域創生のモデルとなる
4. 県南と日本・アジア・世界を繋ぐ

## ■コイニティ3は低コスト導入とよりセキュアな環境構築を実現

コイニティ3は、地域の独自通貨を発行できるトークンエコノミー構築システムで、次の3つの特徴があります。

### 1.低コストで高速処理が可能

分散型ストレージの安全で効率的な利用により、低コストであっても高速でデータ処理が可能。

### 2.よりセキュアな環境を構築

当社独自のブロックチェーン技術によるログイン認証システムを搭載しているため、フィッシング詐欺や中間者攻撃などのリスクに対応できます。

### 3.他サービスとの連携を安価に実現

ブロックチェーン技術によるシングルサインオン機能により、コイニティのアプリ内で、メッセージングアプリやショッピングサイトなど、他のサービスとの連携を安価に実現。

## 【実証実験の詳細】

実証実験の期間：2023年11月6日～2024年5月5日（6ヶ月間）

コイン利用可能店舗：取手駅前商店街を中心に取手市内の飲食店・各種サービス提供事業所

## ■本件に関するお問い合わせ先

茨城県南発展協議会 代表：飯島悠介      取手委員会委員長：伊藤正夫

所在地：〒302-0004 茨城県取手市取手 2-3-7 取手センタービルA棟 4階（ザ・ステーションサロン内ラウンジ）

メール：[kennanhattenn@gmail.com](mailto:kennanhattenn@gmail.com)      連絡先：090-8568-6939

■とりでコインアプリ (Cinity3) のダウンロード方法はこちら

ダウンロードはこちら



Coinity3  
コインティ

使い方は簡単3ステップ! 🙌

**ステップ1**  
コインティ3アプリを  
ダウンロード



**ステップ2**  
必要情報を入力し登録



**ステップ3**  
イベントなどに参加で得た  
コインで、お店でお買い物

